



北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信 Vol. 122

2019/5/27 発行

第122回 ほほえみ 開催

5月15日（水）第122回 ほほえみを開催しました。
今回は11名の方が参加してくれました。



【がんサロン事務局より】

次回のほほえみは、6/19（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となります

『独りじゃない』

（がん体験記）

がんは身体だけではなく心まで蝕む病だと、自分ががんになって初めて気づきました。それは再発の不安もそうですが、途轍もなく大きな孤独・・・心の闇です。

そんなとき私が求めていたのは、同じような年代の人、同じような治療をした人、似た境遇に置かれている人、そして、同じ不安を抱えている人でした。それはきっと、“仲間”や“共感”という言葉で表されるものなのでしょう。

そして私は、藁をも縋る思いでがんサロンに参加しました。

そこで知った、「私一人ではない」という思い。誰もが悩み、孤独を感じていること、家族や周囲にもその思いを口にはできないということでした。

私はがんサロンで救われました。

でも、サロンにも行けず、患者会にも参加できずに、一人で抱え込んでいる患者さんがたくさんいるのではないかと思います。

だから私は言いたい。

「あなたは決して独りじゃない」

「たくさんの方がいます」

“がん”というだけでつながれる思いがあります。

一人で悩み、孤独を抱え込んでいる方たちが、この通信を読んでくれていることを願って――。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）